

## 看護学科

科目名: 保健医療福祉統計概説				担当教員 氏名: 荒木晴美、河相てる美、村井嘉寛、矢野恵子、今川孝枝、小倉之子、高田亮子、古里直子、北山由起子 他		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	3年次	後期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民衛生の動向、福祉の動向をテキストとして、日本における保健・医療・福祉に関する統計的数値の意味を学び、看護実践における重要な数値とは何かを理解する。</li> <li>・講義の方法は、各専門領域の教員がそれぞれ担当し、保健・医療・福祉の現状を確認し今後の展望についてディスカッションしながら進める。</li> <li>・看護師として総合的な知識を確認する。</li> </ul>						統計指標 疾病対策 医療対策 福祉対策
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			①衛生の主要指標と結びつけながら、健康増進と生活習慣病対策について考える。			
C 論理的思考力			②衛生の主要指標と結びつけながら、母子保健について考える。			
D 問題解決力			③衛生の主要指標と結びつけながら、感染症対策について考える。			
			④衛生の主要指標と結びつけながら、精神保健について考える。			
			⑤衛生の主要指標と結びつけながら、疾病対策(腎疾患・リウマチ・アレルギー)について考える。			
			⑥衛生の主要指標と結びつけながら、疾病対策(がん、難病)について考える。			
			⑦衛生の主要指標と結びつけながら、地域包括ケア、介護保険、在宅看護について考える。			
			⑧衛生の主要指標と結びつけながら、医療対策・健康増進・生活習慣病対策について考える。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項: 授業はこれまでの学習の総まとめとしての評価判定とする。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 毎回の授業時に小テスト、終了後にまとめて本試験を実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回の授業でフィードバックし、最終試験に備える。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①基礎医学について考える。				【予習】120分 【復習】120分		
②母子の保健と看護について考える。				・国民衛生の動向・テキストの確認 【予習】120分 【復習】120分		
③基礎看護について考える。				・学習事項についてノートを作成 ・不明事項の書き出し、事前学習 【予習】120分 【復習】120分		
④精神保健について考える。				・小テストの振り返り ・不確かな事項についての事後確認 【予習】120分 【復習】120分		
⑤疾病対策(腎疾患・リウマチ・アレルギーなど)について考える。				【予習】120分 【復習】120分		
⑥疾病対策(がん、難病)について考える				【予習】120分 【復習】120分		
⑦地域包括ケア、介護保険、在宅看護について考える。				上記について毎回確実に実施すること 【予習】120分 【復習】120分		
⑧医療対策・感染対策・生活習慣病対策について考える。				【予習】120分 【復習】120分		
使用テキスト: 国民衛生の動向(厚生統計協会) 図説 国民衛生の動向(厚生統計協会) ISBN978-4-87511-777-3				その他参考文献など: 国民の福祉の動向(厚生統計協会) 国家試験問題集		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 各授業にはこれまでの授業の振り返りを十分に行って臨むこと。 国家試験に向けての最終のまとめの授業となります。						